

5 Voices

それは、広がる未来に踏み出す一歩。
機械工学を学んでいる皆さん、

原子力産業で活躍する ▼先輩からのメッセージ

Voice 01



入社を決めた動機は？

2011年に発生した東日本大震災で被災生活を経験しました。この時、電気の大切さを実感。その経験から、電気を支える仕事に携わりたいと考えました。当時は電力自由化前だったので、地元の電力会社ではなく、日本中に発電所があり、電力を供給できるJ-POWER(電源開発)を志望しました。

鈴木佑一郎さん

(すずき ゆういちろう)

J-POWER(電源開発株式会社)

原子力技術部 設備技術室

2012年入社

航空宇宙工学専攻

表面の知識を知るだけで満足するのではなく、まずは自分でやってみて経験することが大事！いろいろな経験を積むことで見えてくるものがあるはずです。

Voice 02



今、一番面白いことは？

私が関わっている業務の1つに、ロボット技術を用いた遠隔操作化・自動化技術の調査検討業務があります。この業務は、地層処分の安全性や効率性、品質の向上を目的に、建設や操業に適用性が高いと考えられるロボット技術の情報収集です。知らなかった技術や知識、海外の実施状況に触れることもあり、面白さを感じています。

市村哲大さん

(いちむら てつひろ)

原子力発電環境整備機構

技術部 工学技術グループ

2019年入社

機械システム工学専攻

原子力産業に携わる者は皆、「安全であること」の考えを共有し共に成長しています。皆さんも一緒にやりませんか！

Voice 03



大学で学んだこと、どう生かしてる？

大学では流体力学に興味を持ち、将来は空調に関する仕事とを考えていました。その中でも原子力空調という特殊な分野に興味を抱き、この仕事を選びました。機械工学科では必ず製図の講義がありますが、図面を読む・描くことが今の仕事に生かれています。特に、原子力の設計では図面の確実性が問われるので、この読む力は大変重要です。

中川寛之さん

(なかかわ ひろゆき)

新日本空調株式会社

原子力事業部 設計部

2017年入社

機械工学専攻

視野を広げ、少しでも興味がある分野を追究してみてください。思いがけない会社に就職するかも！

Voice 04



原子力産業についてどう思う？

原子力事業に興味を持ち、原子力施設の設計・施行実績が豊富な今の会社に入りました。現在、西日本を中心にPWR(加圧水型)の原子炉が再稼働していますが、BWR(沸騰水型)原子炉は再稼働していません。顧客と共に安全性を高め、信頼性を築き上げ、関わったプラントが再稼働できることを目指しています。

坂田侑平さん

(さかた ゆうへい)

新日本空調株式会社

原子力事業部 技術部

2018年入社

機械工学専攻

仕事では、疑問に思ったことは掘り下げ、改良していくことが重要。大学生活でも、疑問に思ったことは放置せず、考えることが将来役に立つかも！

Voice 05



入社して5年、将来の夢は？

現在の業務は、高速炉プラントの溶接継手のクリープ疲労強度評価法の開発。溶接継手の材料組織は複雑です。不均一な材料組織の連続というミクロな観点と、大きなプラントの構造材料の一部であるというマクロな観点から、溶接継手を捉える必要があります。将来はミクロからマクロまで俯瞰できる研究者へと成長していきたいです。

山下勇人さん

(やました ゆうと)

日本原子力研究開発機構

高速炉・新型炉研究開発部門

大洗研究所

2016年入社

機械工学専攻

原子力産業は専門性の幅が広い。必ず自分の専門を生かせる分野があります！

▼ あなたの専門知識を 生かせる職場があります。

活躍できるフィールドは幅広く、
発電所を中心に例えばこんなところでも……。



廃炉という 国家的プロジェクト

福島第一原子力発電所では、国内外の各種研究機関や企業の英知を結集して、世界で初めてとなる廃炉作業を総力を挙げて進めています。この廃炉は30～40年にわたる国家的プロジェクトであり、事業者としてロボットや遠隔操作に関する技術開発にも積極的に取り組んでいます。

写真提供：東京電力ホールディングス株式会社

廃棄物処分の 技術開発

原子力発電に伴い発生する高レベル放射性廃棄物は、地下深くの安定した岩盤に埋設します。その安全性を評価するために、専攻分野が異なる人たちが、さまざまな知識を活用しながら技術開発しています。

写真提供：原子力発電環境整備機構



エネルギー関連 施設的设计・施工

エネルギー関連施設には、さまざまな高度な技術が集結しており、その中でも空調システムを構築することで、安心して利用できる施設の運用管理に寄与しています。設計・施工の分野でいろいろな分野を専攻した人達が活躍しています。

写真提供：新日本空調株式会社



先輩はこんなこともつぶやいています。

機械工学科で学ぶ4力
(機械・材料・流体・熱)は
空調の基本!

学生時代に学んだ
部材の劣化・損傷評価に関する
知識がチカラに。

材料力学や弾塑性力学が
役立っている。

原子力産業はさまざまな
工学分野から成る複合的な
産業。だから自分の専門性を
生かす場がある。



大学で培った説明・
プレゼンテーション能力が
活きている。

